

安倍川直轄河川改修事業

説明資料

平成26年7月4日

国土交通省 中部地方整備局
静岡河川事務所

目 次

1. 事業の概要	
1) 流域の概要	1
2) 主要洪水	2
3) 事業の目的及び計画内容	3
2. 評価の視点	
1) 事業の必要性等に関する視点	
(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化	4
(2) 事業の投資効果	5
(3) 事業の進捗状況	6
3. 県への意見聴取結果	7
4. 対応方針(原案)	7

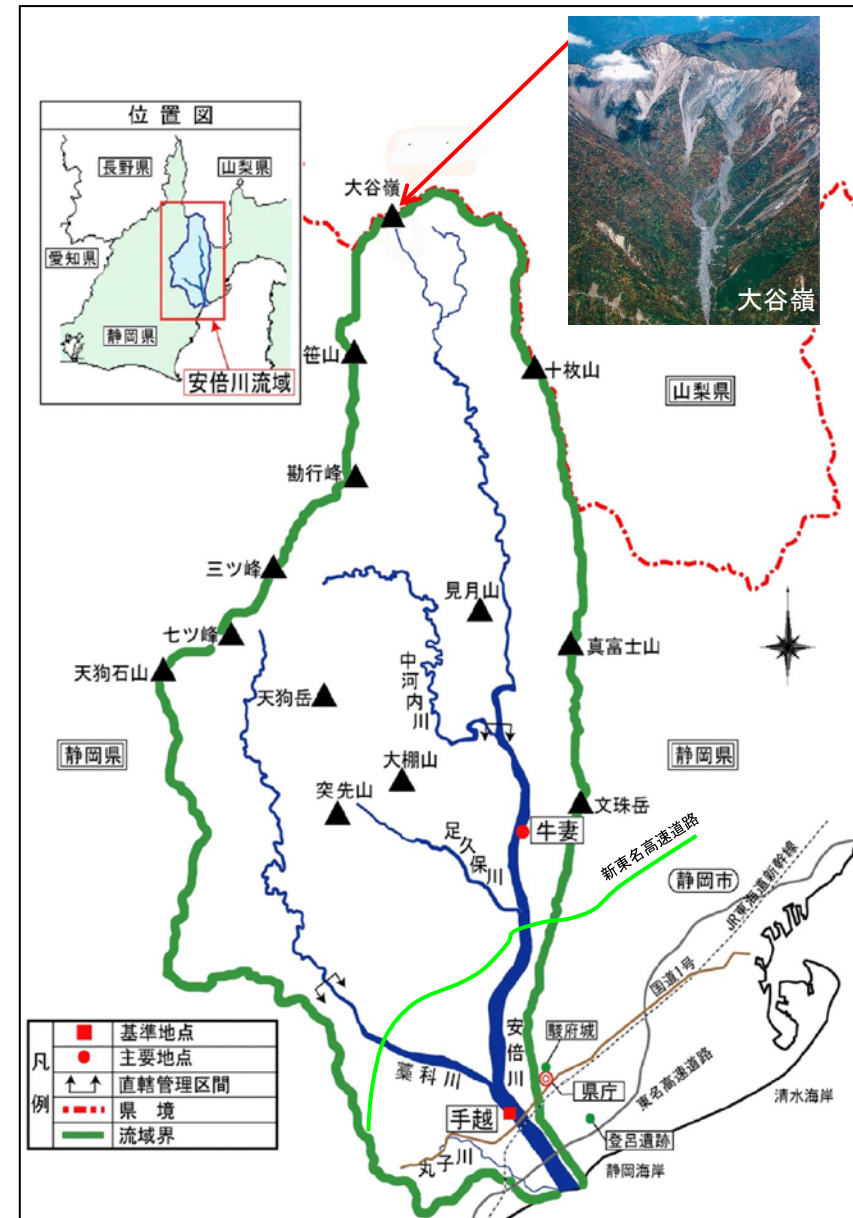
1. 事業の概要

1) 流域の概要

安倍川は、その源を静岡県と山梨県の県境に位置する大谷嶺(標高2,000m)に発し、山間部を流れて中河内川、足久保川等の支川を合わせながら南流し、静岡平野を形成する扇状地に出たから藁科川を合わせて静岡市街地を貫流し、さらに河口付近で丸子川を合わせて駿河湾に注ぐ、幹川流路延長51km、流域面積567km²の一級河川です。

安倍川流域には、国道1号、東名高速道路、新東名高速道路、JR東海道新幹線等の我が国の根幹をなす重要交通網や政治、経済、教育など中枢管理機能が集積し、この地域における社会・経済・文化の基盤をなしています。

- 流域面積 : 567km²
- 幹川流路延長 : 51km
- 流域内市町 : 静岡市
- 流域内人口 : 約19万人
- 年平均降水量 : 約2,800mm(山間部)、2,200mm(平野部)



2) 主要洪水

過去の災害としては、昭和54年10月の台風20号等、台風に起因する洪水が多く堤防の決壊や河岸浸食による被害などが発生しています。

発生年月	気象要因	手越地点 流量 (m ³ /s)	概要・被害等
大正3年8月	台風	—	死者行方不明者4人、負傷者78人、家屋全壊62戸、半壊313戸、床上浸水6,556戸、床下浸水1,707戸（主に安倍川の堤防の決壊による被害）
昭和41年9月	台風26号	約2,300	梅ヶ島温泉街で土石流災害、家屋全壊9戸、半壊2戸、死者26人
昭和49年7月	台風8号 (七夕豪雨)	約3,900	死者23人、負傷者28人、家屋全半壊186戸、浸水家屋22,796戸（静岡市全体、内水・小河川被害・中小河川決壊・山腹崩壊）
昭和54年10月	台風20号	約4,900	床上浸水34戸、床下浸水45戸（内水・小河川被害）
平成3年9月	秋雨前線・ 台風18号	約2,500	床上浸水81戸、床下浸水157戸 （静岡市全体、内水・小河川被害）

◆浸水状況



大正3年8月洪水（静岡市柳町付近）



昭和49年7月洪水
静岡市川合旭町の被災状況

◆堤防の決壊 河岸浸食の状況



平成3年9月洪水
俵沢地区（21.5k付近左岸）被災状況

◆近年の出水状況

出水時



平成23年7月20日 台風6号による出水
牛妻（16K付近右岸）



通常時

3) 事業の目的及び計画内容

平成20年3月に策定された「安倍川水系河川整備計画」において、河川整備基本方針の整備水準に向けて段階的に整備を進めることとし、安倍川の大臣管理区間における当面の整備目標は、概ね30年を目処に、基準地点の手越で観測史上最大規模の洪水(昭和54年10月洪水)と同規模の流量(4,900m³/s)を概ね安全に流下させることとしています。

■ 河川整備計画において目標とする河道整備流量

河川名	基準地点名	河川整備計画 目標流量	備考
安倍川	手越	4,900 m ³ /s	昭和54年10月洪水規模

■ 河川整備計画(概ね30年間)での主な整備内容

整備項目	全体
堤防整備・堤防強化	18.0km
高水敷整備	4.2km
河道掘削	265千m ³
霞堤開口部・ 支川合流部対策	3箇所



■ 河川整備計画(治水)の主な整備位置図

2. 評価の視点

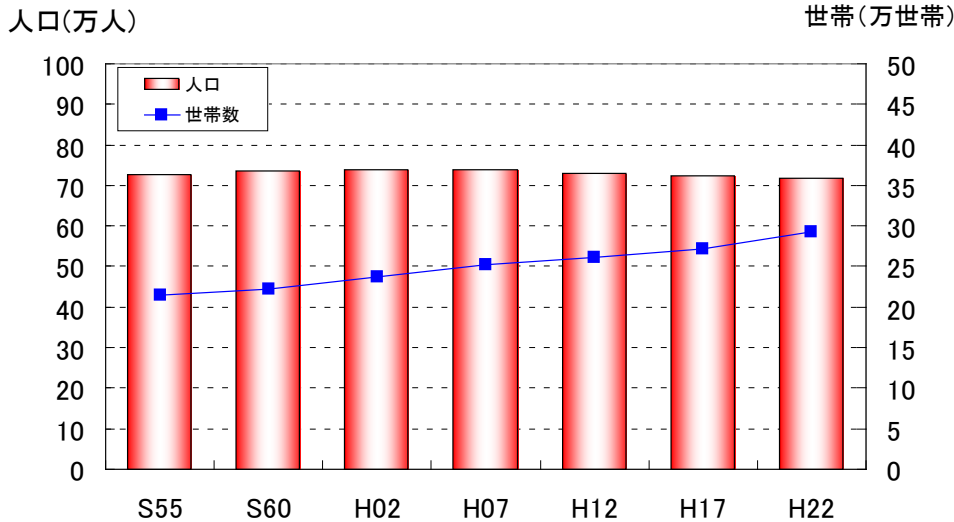
1) 事業の必要性に関する視点

(1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

流域の人口に大きな変化は見られませんが、世帯数は増加傾向にあります。

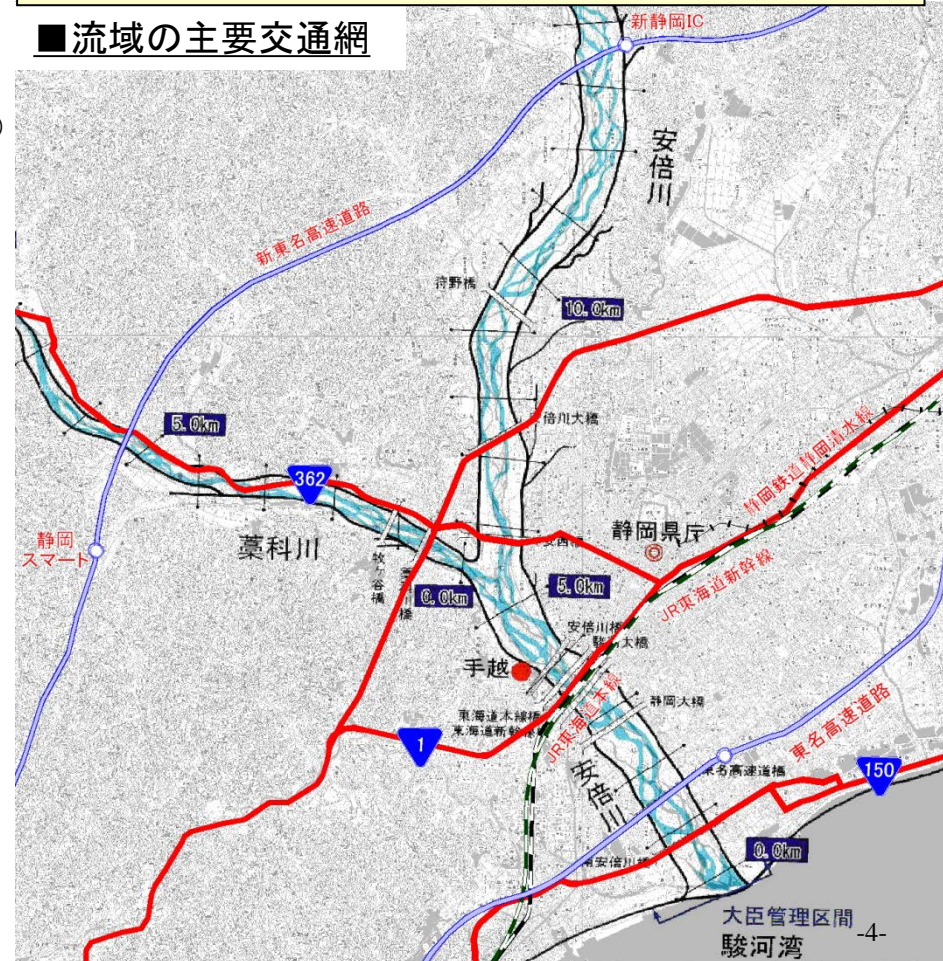
流域は、静岡県 の 県庁所在地である静岡市街地が発達し、東名高速道路やJR東海道新幹線等、日本経済の基盤をなす重要交通網が集中しており、平成24年度には、新東名高速道路の供用開始もされ、一層の経済活動等が見込まれています。

■ 流域市町村の人口の推移



静岡市の人口・世帯数の変遷
(出典: 国勢調査)

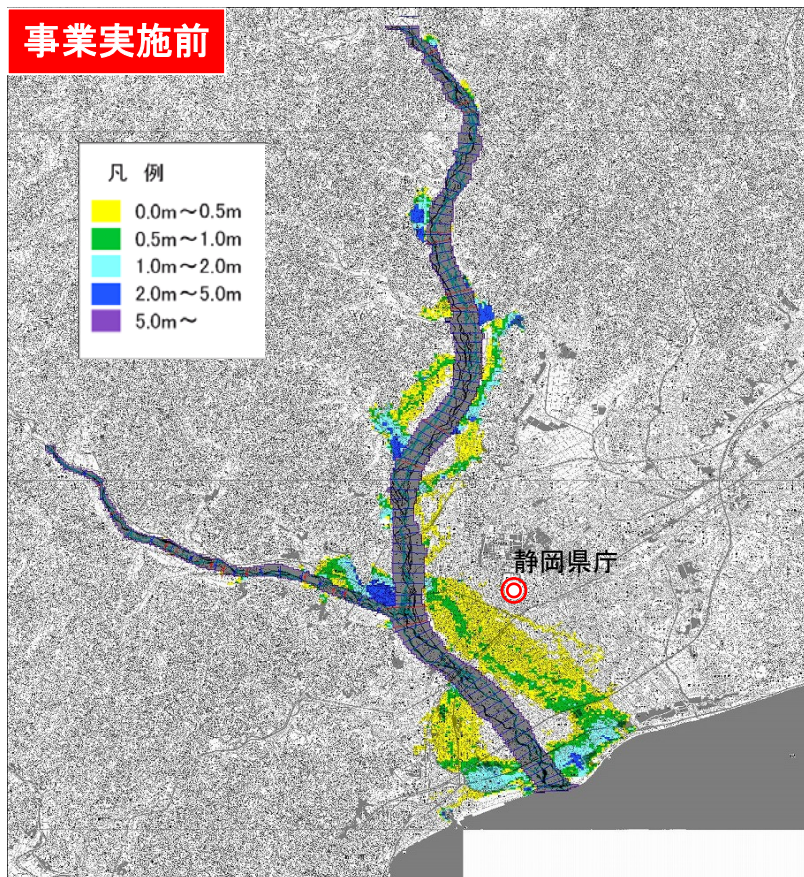
■ 流域の主要交通網



(2) 事業の投資効果

基準地点の手越で観測史上最大規模の洪水(昭和54年10月洪水)と同規模の降雨が降ったことにより想定される氾濫被害は、浸水面積約2,500ha、浸水人口約16.6万人、浸水家屋数6.4万世帯であり、整備を実施することで氾濫被害が概ね解消されます。

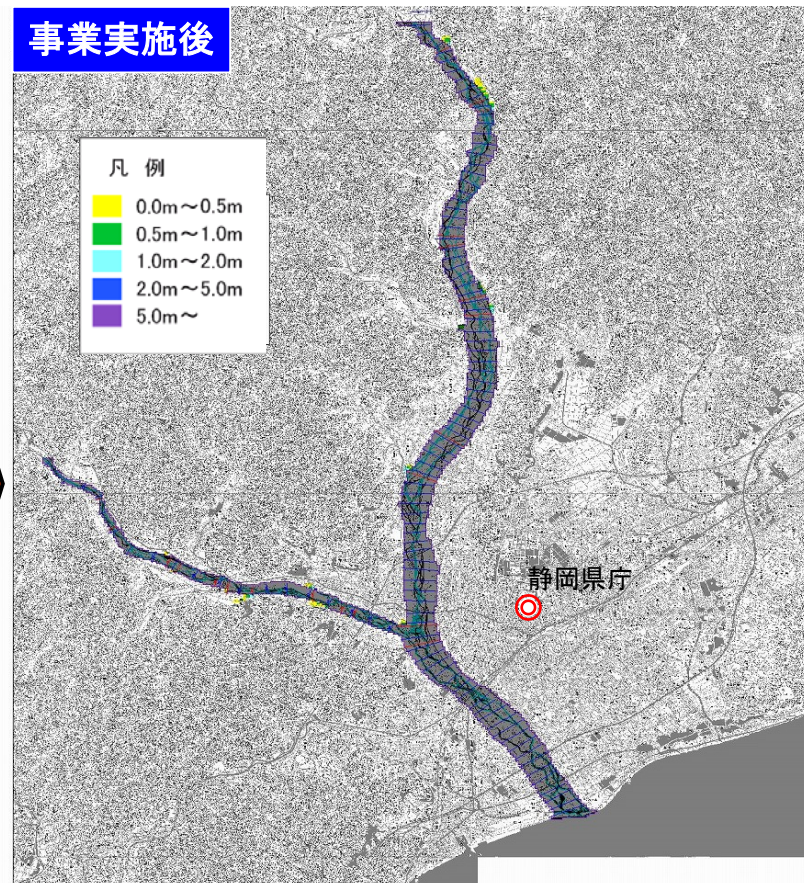
事業実施前



段階	想定被害	
	被害額(億円)	浸水面積(ha)
着手時(H20年度)	7,676	2,511

事業実施前の氾濫想定図(河川整備計画目標規模)

事業実施後

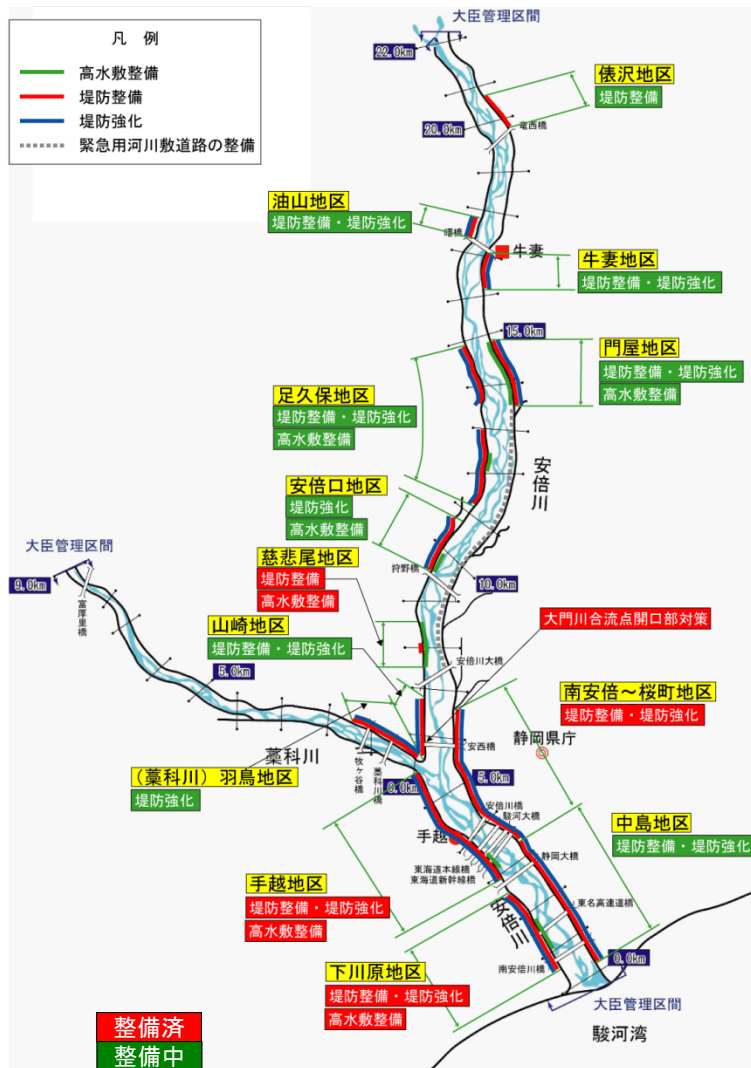


段階	想定被害	
	被害額(億円)	浸水面積(ha)
整備後(H49年度)	8	2

事業実施後の氾濫想定図(河川整備計画目標規模)

(3) 事業の進捗状況

安倍川では、昭和54年10月洪水を安全に流下させるため、堤防整備・堤防強化を重点的に進めており、河川整備計画に計上されている事業の進捗率は事業費ベースで42%程度です。



堤防強化(手越地区)



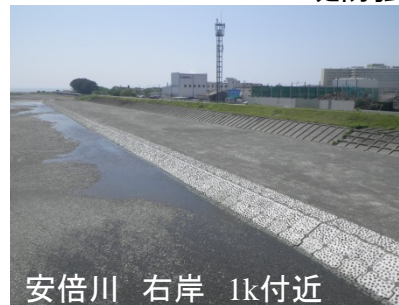
安倍川 右岸 5k付近

堤防整備(依沢地区)



安倍川 左岸 20k付近

堤防強化(下川原地区)



安倍川 右岸 1k付近



安倍川 右岸 1k付近

河川整備計画にて計上された事業の実施状況

整備項目	全体	完了	残事業
堤防整備・堤防強化	18.0km	6.5km	11.5km
高水敷整備	4.2km	2.3km	1.9km
河道掘削	265千m ³	0千m ³	265千m ³
霞堤開口部・支川合流部対策	3箇所	1箇所	2箇所

平成27年3月末時点

3. 県への意見聴取結果

静岡県への意見聴取の結果は、以下のとおりです。

(静岡県)

安倍川は静岡県中部に位置し、その源を静岡県と山梨県の県境に位置する大谷嶺に発し、山間部を流れて中河内川、足久保川等の支川を合わせながら南流し、静岡平野を形成する扇状地に出た後から藁科川を合わせて駿河湾に注いでいます。

本事業は、堤防等を整備することで、静岡市の市街地や、高速道路や主要国道、幹線鉄道が通る交通の要衝を有する安倍川流域の洪水被害を軽減する、大変重要な事業です。

更に、安倍川では、健全な流砂系を保ち、三保松原の砂浜を回復するために、適正な通過土砂量を目標設定した「安倍川総合土砂管理計画」を昨年度策定し、河川と海岸で連携した養浜を実施するなどの取り組みを行っています。

今後も、コスト縮減の徹底とともに、効果が十分に発現できるよう事業の推進をお願いします。

また、各年度の実施に当たっては、引き続き、県と十分な調整をお願いします。

4. 対応方針(原案)

以上のことから、安倍川水系河川整備計画に基づく、安倍川直轄河川改修事業を継続していきます。